



世界最先端研究大学構想 —国際連携活動の推進と課題—

名古屋大学
理事・副総長 高橋雅英

到達
目標

10-20年後の名古屋大学の姿



世界最先端研究大学

高い国際競争力を持ち
Sustainableな世界を築く人材を育成する魅力ある
世界屈指の研究大学へ

戦略
1

世界Topレベルへ
先端的研究強化

WPI、学内WPIの実施
若手・女性・外国人支援

戦略
2

海外Top大学と
Joint Degree実施

国際共同教育研究ユニット設立
国際共著論文・外国人教員の増加
世界屈指の研究大学を目指す

戦略
3

世界を牽引する
人材の育成

留学生受入・定着
日本人学生派遣
国際通用性のある教育

戦略
4

アジアにおける
拠点の展開

各国中枢人材育成
アジア・サテライトキャンパス始動
優秀な留学生の獲得

戦略
5

世界の大学との
学術連携の拡大

世界トップ大学との連携強化
AC21, RENKEI, MIRAI, APRU



名古屋大学におけるジョイント・ディグリープログラム(JDP)の拡大推進

指定国立大学構想

知識基盤社会をリードする卓越した博士人材を育成

国際共同研究を推進し、**世界トップ大学との研究ネットワークを基盤としたJDPを開始**

- ◆ 学生は世界を知り、世界にネットワークを獲得
- ◆ 大学は連携大学の教育体系や先進的な取組を取り入れ、更に発展
- ◆ 連携大学との共同審査により、学位は国際的にも質を保証



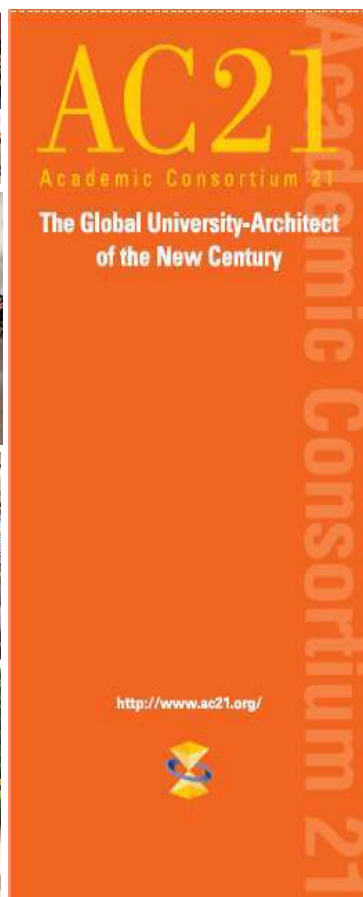
NU MIRAI 2020 名古屋大学松尾イニシアティブ

名古屋大学を**世界屈指の研究大学**に

- ◆ 人類の幸福に貢献する「勇気ある知識人」の育成
 - ◆ ノーベル賞受賞者輩出など人類の知を持続的に創出
 - ◆ 世界の誰もが選びたいキャンパスの実現
アジアと学び世界に挑む人材の育成
- etc...

3

Academic Consortium 21



沿革

国際学術コンソーシアム(Academic Consortium; AC21)は、2002年6月24日に開催された名古屋大学国際フォーラムにおいて、世界の教育・研究・産業組織により構成された国際的な学術ネットワーク構築を目的として設立されました。国際フォーラムには、世界の24主要大学・教育研究機関の学長および代表者が参加し、新しく活力に満ちた世界的な高等教育の協力組織として、国際学術コンソーシアム(AC21)の結成を採択しました。

激動する時代のなかで、多様に変化する社会の要求に応えるために、高等教育機関が指導力を発揮する必要があります。知識の蓄積、専門技術や経験を有する高等教育機関の国際的なネットワークは、その役割を果たす有効な手段です。AC21は、その活動を通じて、世界の知識領域に貢献していきます。

理念

AC21の理念は、教育と研究の発展のために会員が相互に協力するとともに、世界の異なる地域社会の架け橋となり、21世紀においてあらゆる人々が国や地域の境を越えて共存しつつ豊かな生活を送ることができるように、相互に理解し固有の知識や文化の価値を共有する英知を贈り届けることです。

4

AC21 基本活動



3つの柱「教育」、「研究」および「地域連携」に基づいたAC21の目的を達成するために、全メンバーは、以下の基本活動を推進する。

学生および教職員の活発な交流

研究上の関心および学術上の活動に関する情報の共有、適切と認められる範囲内での連携教育プログラムの開発、異文化の地域間交流支援
2年毎のAC21国際フォーラムの開催

教育

- ・ 多文化の理解と国際的視野の涵養や文理両面の素養の兼備
- ・ 生涯教育の推進
- ・ 世界水準の知識と雇用価値の賦与

研究

- ・ 国際的に活躍できる優れた研究者の育成
- ・ 国際共同研究の推進
- ・ 技術移転のための国際的枠組の構築
- ・ 国際競争力のある産業創出

AC21 Members (17 Universities)

アメリカ

- ・ ノースカロライナ州立大学
- ・ ミネソタ大学
- インドネシア
- ・ ガジャマダ大学
- オーストラリア
- ・ アデレード大学
- タイ
- ・ カセサート大学
- ・ チュロンコン大学

中国

- ・ 吉林大学
- ・ 上海交通大学
- ・ 東北大学
- ・ 同済大学
- ・ 南京大学
- ドイツ
- ・ フライブルク大学
- 日本
- ・ 名古屋大学

ニュージーランド

- ・ カンタベリー大学
- フランス
- ・ ストラスブール大学
- ラオス
- ・ ラオス国立大学
- 南アフリカ
- ・ ステレンボッシュ大学

5

海外Top大学とJoint Degree実施



- 中央教育審議会の指針に従い、設置審の審議を経て、H27.10に我が国初の国際連携専攻を開設
- Top大学と専攻レベルでの研究・教育の本格的連携強化、合同学位審査による博士学位の国際的質保証
- 共同教育カリキュラム（専任教員雇用）⇒ 1年間以上相手校で研究（相互に正・副指導教員を配置）
- 国際共同研究、共著論文増加が期待できる



カセサート大学(タイ)とのJDP設置を皮切りに、研究科レベルで連携・共同研究を実施している東南アジア諸国、中国、韓国、香港の大学とJDP実施の可能性を引き続き検討

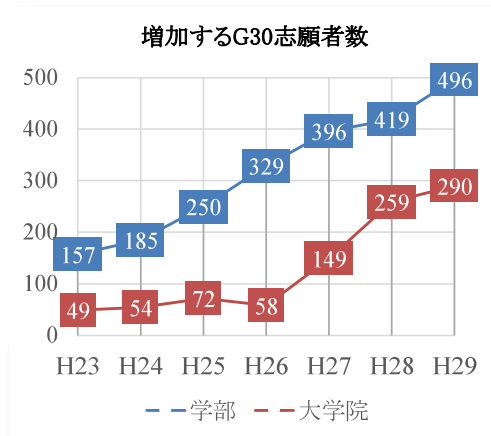
※いずれも「QS世界大学ランキング2018」における順位

G30プログラムの概要と現状

- 外国語のみで卒業可能な秋入学のコース
- 学部カリキュラムとして11プログラム開設
 - ⇒ 日本国内で最大規模の英語による学部教育開講数
- 海外リクルート活動による応募者の増加（左記グラフ参照）
 - ⇒ 海外、特に東南アジアの高校で説明会や模擬講義を実施

G30プログラムの成果

- G30プログラムにおける日本語教育を強化
 - ⇒ 卒業後はグローバル人材として日本国内外で就職（パナソニック、トヨタ自動車、東邦ガス、ソフトバンク等）
- 学部卒業生の25%が欧米の大学院に進学（オックスフォード大学、MIT、ミシガン大学、シカゴ大学等）
 - * 本学の教育が国際通用性を持った高いレベルであることの証左



G30教員任期満了後の学内への定着にむけた取組

- 政府のG30事業終了後も学内予算で雇用を継続
- 教育・研究について評価の高い教員は、任期の定めのない雇用へ
- 順次転換予定

日本人学生の国際化促進

- 日本人学生のG30講義受講促進（G30 for Everyone）
- 基礎的語学力向上のためのカリキュラム改革
 - ⇒ 世界の舞台で活躍する学生の育成（Joint Degree Program拡大）



G30 for Everyone の実施



名古屋大学大学院医学系研究科
Nagoya University Graduate School of Medicine

国際連携総合医学専攻 ジョイント・ディグリー・プログラム

次世代に向けた国際連携教育の推進

ジョイントディグリープログラム

ジョイントディグリーとは

連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの。今般の大学設置基準等の改正により可能となるJDは、所定のプログラムの修了者に対し、連携する外国の大学との連名による学位の授与を認めることとするもの(第二章以下では後者の定義による。)



平成 26 年 11 月 14 日に大学設置基準の一部改正が行われ、「我が国の大学と外国の大学間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー等国際共同学位プログラム構築に関するガイドライン」が公表された。

世界的なグローバル化の進展を背景に、高等教育においても、世界規模で国境を越えた学生や教員の流動化をはじめとする高等教育全般の国際化が年々加速しており高等教育を取り巻く世界の諸情勢を鑑み、実施された。



9

JDP設置の目的について

1. 国際連携により、強みを活かした新たな研究の推進
2. 医学知識だけでなく、海外適応力や経験の体得
3. 海外大学の学位を活かした海外へのキャリアパスを容易に
4. 国際協働研究の推進と世界的地位の向上を促進
5. 交流のさらなる発展と国際共同研究の推進、海外ネットワークの構築

初めての挑戦と課題

- 海外大学との信頼関係の構築
→国際共同シンポジウムの開催
- 文部科学省による設置承認
→手探りの設置申請

沿革

2004年、名古屋大学はアデレード大学と正式に学術交流協定を締結した。また、名古屋大学はAC21において、アデレード大学との強いパートナーシップを構築した。

また、アデレード大学とは、学部生の学生交換を開始した。

両大学は、大学間の交流だけでなく、研究レベルでの交流と共同研究の実施を推進するため、2013年、5月にアデレードにて合同シンポジウムを開催した。

AC21
Academic Consortium 21
The Global University-Architect
of the New Century

<http://www.ac21.org/>



ジョイントスーパービジョンプログラム調印式 (2014年3月19日)



この協定を元に、初めて本学の大学院生がアデレード大学の健康科学部への派遣が行われた。これが礎となり、ジョイントディグリープログラムの設立へと大きく前進した。

FAN Joint Symposium (3大学合同会議)

- Kenji Kadomatsu, M.D., Ph.D. (Nagoya University)
- Andrew Zannettino, M.D., Ph.D. (University of Adelaide)
- Christoph Peters, M.D., Ph.D. (University of Freiburg)
- Andrew Zannettino, M.D., Ph.D. (University of Adelaide)
- Daniel Worthley, M.D., Ph.D. (University of Adelaide)
- Takashi Takahashi, M.D., Ph.D. (Nagoya University)
- Atsushi Natsume, M.D., Ph.D. (Nagoya University)
- Michael Wirsching, M.D., Ph.D. (University of Freiburg)
- Hiroyuki Kimura, M.D., Ph.D. (Nagoya University)
- Jozef Gecz, Ph.D. (University of Adelaide)
- Branko Aleksic, M.D., Ph.D. (Nagoya University)
- Kinji Ohno, M.D., Ph.D. (Nagoya University)



13

連携の歴史について



ジョイントディグリープログラムの前身となるジョイントスーパービジョンプログラムについて、その候補者の絞り込みや、また共同研究の可能性について話し合いを行った。最終的に、3大学それぞれが合意して上記プログラムの実施について協定を締結した。

2014.3

第1回3大学国際シンポジウム(名古屋)



初めてフライブルク大学にて合同シンポジウムを開催した。

2017.10

第5回3大学合同国際シンポジウム(フライブルク)

2016.10
第4回3大学合同国際シンポジウム(アデレード)

2015.10

第3回3大学合同国際シンポジウム(名古屋)

2015.3

国際シンポジウム(フライブルク)

2014.9

第2回3大学合同国際シンポジウム(アデレード)

ジョイントディグリープログラム設置に関する詳細な話し合いが行われた。



2018.11

第4回4大学合同国際シンポジウム(名古屋)

3大学にルンド大学を加えて、初めて4大学にてシンポジウムを開催した。特にJDPについて、各大学関係者が集い今後の戦略について話し合いを行った。



14

初めての挑戦と課題

- ・ 文部科学省による設置認可

→手探りの国際連携専攻設置申請



厳しい設置審査

本専攻の設置には、文部科学省による厳しい審査が必須であった。2015年に無事に審査に合格し、本邦初、海外大学との共同博士課程プログラム（1つの学位を授与するジョイント・ディグリー・プログラム）が設置された。

15

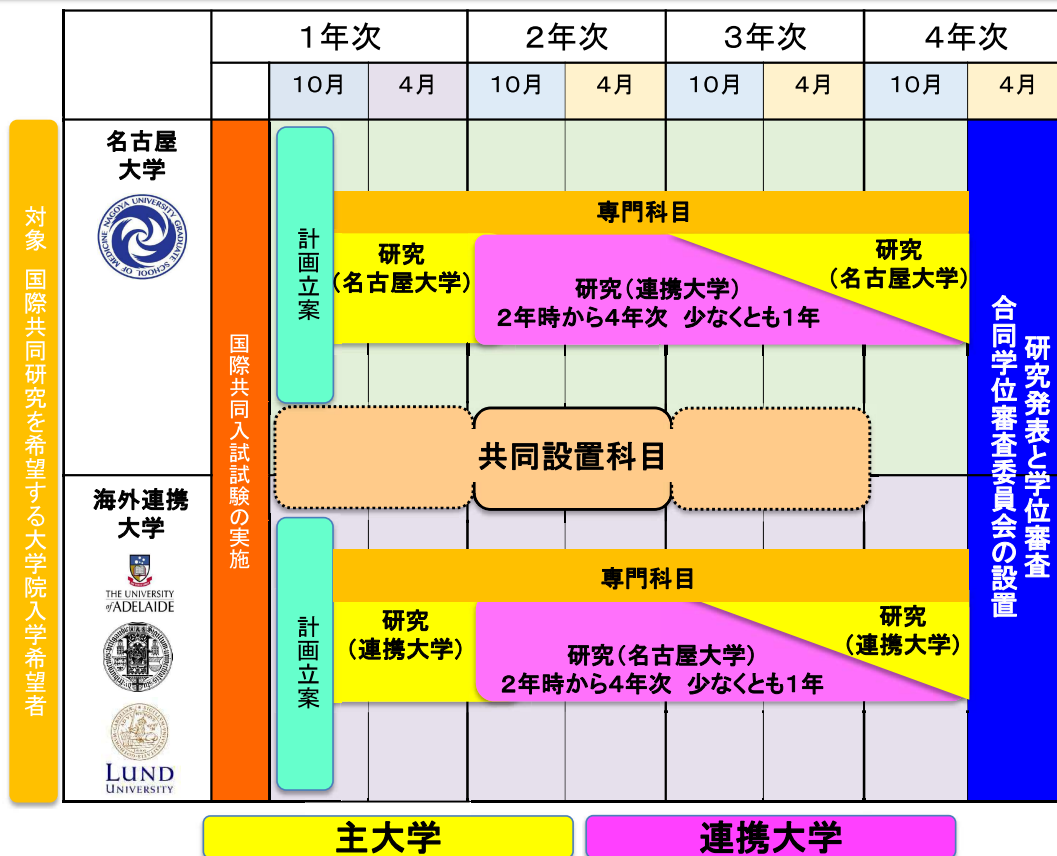
専攻名	設置研究科	開設認可
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (名古屋＝アデレードJDP) <i>本邦初</i>	医学系研究科	2015年 (平成27年) 6月
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (名古屋＝ルンドJDP)	医学系研究科	2016年 (平成28年) 11月
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (名古屋＝フライブルクJDP)	医学系研究科	2018年 (平成30年) 6月

本邦初を含む3つのジョイント・ディグリー・プログラム（JDP）名古屋大学大学院医学系研究科は海外の大学と共同で博士課程プログラムを運営し1つの学位を授与する、ジョイント・ディグリー・プログラムを2015年に本邦で初めて開設しました。

連携するのはランキングにおけるトップ100レベルの名門大学です。4年間の博士課程のうち1年間以上海外連携大学に滞在し、1つのテーマを日本と海外の多角的視点から研究することで国際的視野を育みます。両大学からの共同学位はあなたの国際経験の証となります。海外渡航へは経済的支援を行います。



16

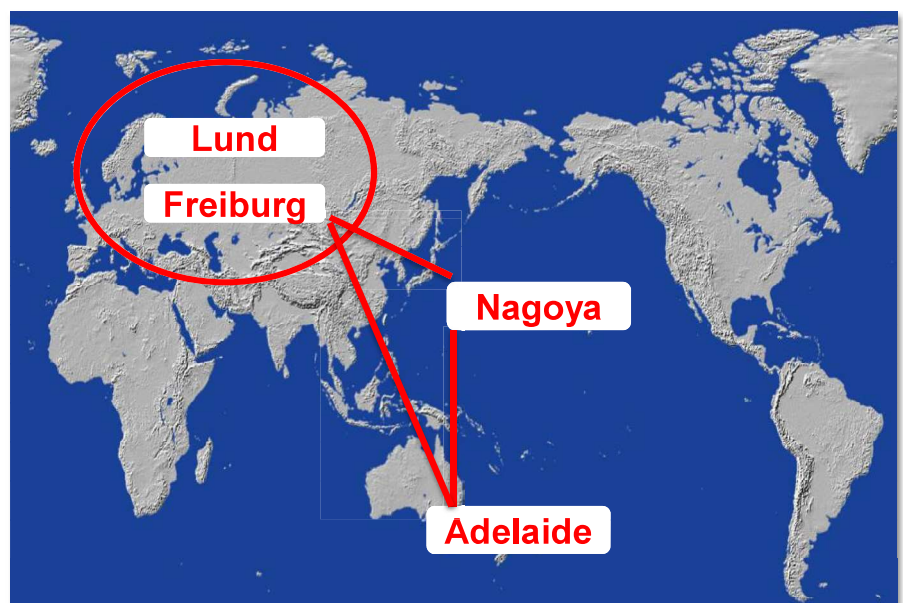


17

Toward the Global Research initiative

革新的な研究の推進へ

1. 神経領域
2. がん領域
3. 再生領域
4. 免疫・感染症



新たな挑戦

名古屋・フライブルク・アデレードの3大学からルンドを加えた4大学の国際連携へ

18